



適正な価格転嫁の促進で、実質賃金の改善に つながる「6%以上」の賃上げを勝ち取るため、 現場からのたたかいを強化しよう

連合山形会長 船山 整

2025春季生活闘争が、本格的にスタートします。2024春季生活闘争では、「物価上昇を上回る賃上げ」、「底上げ」「底支え」「格差是正」「人への投資拡大」などをキーワードに、連合全体の集約で「5.10%」の賃上げを勝ち取ることができました。

しかし、物価上昇は依然とどまることを知らず、実質賃金は前年比プラスを見るに至っていません。賃上げが物価上昇に追いついていない状況が続いています。

2023年3月24日に、国の関係機関、県、県内各経営者団体、連合山形、計11の機関・団体による「価格転嫁の円滑な促進により地域経済の好循環を生み出す共同宣言」を締結しました。しかし、連合山形のシンクタンクである経済社会研究所が実施した、「価格転嫁」の実施状況に関する県内企業約200社からのアンケート調査においても、「価格転嫁」進んでいるとは言えない状況が明らかになっています。共同宣言の実効性を上げるため、公労使共通の認識に立ち、適正な価格転嫁を促進し、賃上げによる、地域経済の好循環を実現していくことが重要です。

政府や経営者団体は、2025春季生活闘争においても、「賃上げの必要性」を主張しています。そうした状況を踏まえつつも、賃上げは、労働組合の主体的なたたかいで勝ち取るものであることを改めて確認し、たたかいを進めていくことが重要です。

2025春季生活闘争は、より一層、連合のたたかう力量が問われているといえます。連合山形に結集するすべての組合が要求書を提出し、交渉により賃上げを勝ち取っていきましょう。

連合が取り組む課題は、幅広い分野にわたっています。連合運動の意義や必要性を地域住民の皆さんに広くアピールし、存在感を示しながらすべての働く仲間へ寄り添った運動を展開していきたいと考えています。

昨年10月の衆議院解散総選挙で、自公政権を過半数割れに追い込み、働く者の声、地域の声が、政策に一定反映される政治状況に変えることができました。今年7月の参議院選挙は、そうした政治の流れをより確かなものに変えていく極めて重要な選挙といえます。政権交代を展望しながら、選挙区においては現職の芳賀道也議員の再選、比例区においては連合各構成組織が擁立する組織内候補全員の勝利にむけ連合山形の組織の総力を結集し、働く者の声や弱い立場の方々の声が届く民主的な政治を実現しましょう。

連合山形に結集する40,000人の仲間の強固な団結のもと、大幅賃上げをはじめとする、2025春季生活闘争に勝利しましょう。